

令和5年度

入善町立入善小学校

令和6年3月4日



学校だより

学校の教育目標 「じりつする子供の育成」



教室の様子をご覧ください。ほぼ毎日更新 <http://www.nyuzen-e.tym.ed.jp/>

エリさんのありがとう

校長 内山 真之

担任した6年生に、いつも「ありがとう」と言う小学生がいました。エリさんは、私にも「先生、ありがとう！」と会話の中で言うのです。若く未熟な教師の学級は、エリさんの言動のおかげで、とても温かい学級でした。教室では、一人の子供の価値観や行動が集団を高めてくれることが、実はよくあるのです。

お母さん方には、よく教えていただきました。「エリさんは、どうして自然にありがとうと言えるのですか?」「先生、簡単ですよ。親子でも、ありがとうを言うだけです」「車で子供を送迎したら、必ずありがとうを言わせます」「親も子供の送迎は大変です。してもらうのを当たり前だと思わないようにしたいのです。一番、世話をしている親にお礼を言わないようでは、他人には言わないでしょうから。」我が家でもすぐに実行しました。



集団登校で、エリさんは下級生を連れて来ます。雨の日には、玄関で濡れた1年生の身体を拭いてあげています。日頃からそんな姿を見ているものですから、「先生」が教えることも勿論ありますが、子供の姿に教えられることも本当に多いと思っています。

この話は卒業式の前日に続きます。いつものようにエリさんが集団登校の集合場所に行くと、小さな子供たちが花束を持って待っています。「エリちゃん、今日までありがとう!」エリさんも泣きながら「みんな、ありがとう!」と言ったそうです(お母様談)。

さて、10年後に「先生、私、小学校の先生になりました。ありがとうございます!」と恵里先生が私の前に笑顔で立っていました。横には微笑むお母様もおられました。

私が「ありがとう」や挨拶を大切に感じるのは、出会った子供たちと親御さんのおかげです。「学ぶ」の語源は「まねぶ」だといいますし、いいなと思った姿を真似ながら子育ても仕事としての学校教育もやってきました。本当に感謝しかありません。

いよいよ本校の6年生も卒業です。下級生とよく遊んでくれる優しい姿がいつもありました。全校のことを考え、行動してくれました。卒業式は、きっと全校生徒の「ありがとう」で溢れた素敵な日になることでしょう。6年生、ありがとう!

6年生を送る会を終えて

わたしは毎日練習してきた入場曲がうまくいってうれしかったです。最後は少し6年生の入場のスピードが合わなかったけど、みんなの息が合っていたのでごく良かったです。1年生は心のコモったメッセージと歌だったので、びっくりしました。6年生からのお返しもすごくきれいな音でした。どの学年もすごく練習したんだろうなと思いました。

5年 間部みりや



令和5年度最後の「学校だより」になります。1年間ありがとうございました。

2月21日 6年生を送る会

6年生を送る会が行われました。各学年の発表もとても工夫されていました。会場全体が笑顔に溢れていて、これまで学校の中心として活躍してくれた6年生への感謝の気持ちが伝わった6年生を送る会でした。5年生の企画・運営もたいへん素晴らしく、次の6年生になる心構えが、もうできています。6年生はもうすぐ卒業だと実感しましたね。



2月22日 さん俵づくり

5年生が入善ジャンボスイカを包む「さん俵」づくりに挑戦しました。入善ジャンボ西瓜生産組合の皆さんから編み方を教えていただきました。夏には、ジャンボスイカの畑を訪れ、生産のたいへんさを感じています。そのジャンボスイカのブランド化の一端として重要な「さん俵」の製作を体験できたことは、たいへん貴重な経験となりました。ありがとうございます。



2月26日 卒業に向けて合唱練習

6年生の卒業式に向けての「特別合唱指導」が始まりました。元入善小学校の校長先生で、富山県内で合唱指導をしておられる宮崎新悟先生が指導に来てくださっています。60分間にみるみる上達していくのがわかります。全部で3回を予定しています。在校生の合唱指導には、亀田絹子先生をお願いしています。卒業式の合唱が楽しみです。

